

⇒作図も重要であるが、「計画の要点等」は、合否決定の影響が大きい。以下の通り相当量を記述することで、他者に差を付けて合格へ飛び込める(丸暗記して下さい)。

(1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。

② 屋内プールを無柱空間とするために構造計画で考慮したこと

- ・温水プール内は、無柱空間とするため、温水プール上部の梁を14mの長スパンとした。
- ・14mの長スパン梁は、主体構造のRC造と一体性を高めるため、PC梁を採用した。

なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 利用者と職員等のアプローチ

- ・利用者のアプローチは、南側に計画した。
- ・レストランは南側、スポーツコートは北側に計画した。
- ・車椅子利用者用駐車場は、南側に計画した。
- ・職員等のアプローチは、南側に計画した。
- ・通用口は、南側に計画した。
- ・サービス用駐車場は、南側に計画した。

⇒記述は、箇条書きの方がよい。

② 温水プールと更衣室

- ・温水プールと更衣室は、南側に計画した。
- ・更衣室から温水プールへは、南側に計画した。
- ・更衣室の便所は、車椅子利用者用として計画した。
- ・温水プールと更衣室の間には、更衣室から温水プールへは、南側に計画した。

⇒車椅子利用者ルートとして計画した。

③ 採用したパッシブデザイン

(1) 開閉式トップライト

- ・温水プール上部には、開閉式トップライトを採用した。
- ・トップライトは開閉式とし、自然採光を確保した。

(2) 水平・垂直ルーバー

- ・南側窓には水平ルーバーを採用し、日射を遮りつつ採光を確保した。
- ・主要な窓は、窓から入る自然採光を確保した。

(3) 屋上緑化による屋根

- ・屋上には、屋根からの自然採光を確保した。
- ・屋上緑化は、植物からの自然採光を確保した。

⇒この内容は図面と連動して記述する。

(2) 構造計画について

なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物に採用した構造

構造種別:鉄筋コンクリート造

- ・不特定多数が利用する建築物であるため、鉄筋コンクリート造を採用した。
- ・温水プール上部の長スパン梁は、RC造と一体性を高めるため、PC梁を採用した。

架構形式:純ラーメン架構

- ・架構形式は、計画の自由であるため、純ラーメン架構を採用した。
- ・純ラーメン架構は、開口部を確保し、自然採光を確保した。

スパン割り:X方向Y方向

- ・スパン割りは、主体部の構造を確保し、自然採光を確保した。
- ・スパン割りのXY方向は、主体部の構造を確保し、自然採光を確保した。

⇒構造種別、架構形式、スパン割りを記述する。

本内容は会員講座での公開

注) 予測課題1の「計画の要点等」は、文章解答のみの最も基本的な出題内容となっている。

ここは、上記解答程度の内容を記載する必要がある(作図は差が付きにくい一面があり、ここで他者と差を付ける)。

近年、計画の要点等では、「補足図記入」をさせるケースがあるが、その点は、「予測課題2」で出題する。

- ・照明器具は、省エネルギー性の高いLED照明を採用することにより、電力消費量を削減した。
- ・便所など人の出入りの少ない場所の照明は、人感センサー連動照明を採用し、電力消費量を削減した。

⇒パッシブデザインの他、設備による省エネルギー手法も出題される可能性はある。

た。

にした。

た。

した。

画した。

た。

した。

た。

ト方式とした。

出口を採用した。

る。

置について考慮したこと、

スのしやすさを考慮して、

ることで、配管からの

で、循環水の電力を

のみ水害防止から別配置)。

具体的に記述する

ページ方式を採用した。

用した。